

- P1 株主のみなさまへ
- P5 工事実績のご紹介
- P7 下半期トピックス
- P9 グループ企業のご紹介
- P10 海外での事業展開
- P11 財務情報
- P13 技術のご紹介
- P14 株主様アンケート結果
のご報告



代表取締役社長

今井雅則

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当期(2014年4月1日～2015年3月31日)の決算概要とともに、この度、新たに策定した「中期経営計画2017」につきましてご報告いたします。

● 戸田建設グループグローバルビジョン

“喜び”を実現する企業グループ

● お客様の満足のために ●

私たちは、確かな技術力と多彩な人財力で、お客様との最良のパートナーシップをつくります。

● 誇りある仕事のために ●

私たちは、社員をはじめ現場に携わる一人ひとりが、強い責任感と情熱をもって仕事に取り組める職場をつくります。

● 人と地球の未来のために ●

私たちは、時代の変化と社会の課題に真摯に向き合い、環境に配慮した安心・安全な社会をつくります。

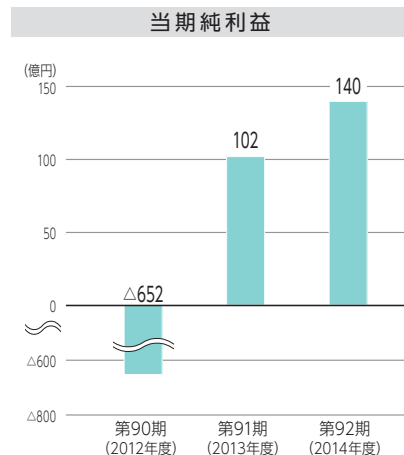
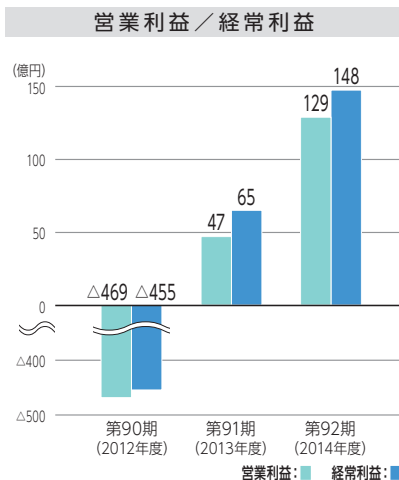
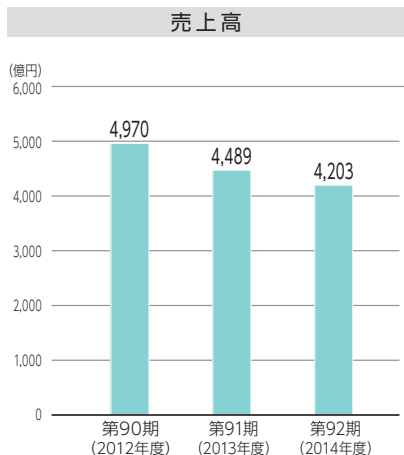
当期の概況

当期における国内景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要により個人消費の反動減がみられたものの、円安や原油安等を背景に企業収益が改善するなど、全体としては緩やかな回復基調が続きました。建設業界においては、官公庁工事を中心に受注が堅調に推移した一方で、労務逼迫等の懸念が払拭されず、不透明な要因を併せ持つ経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、売上高は、主に当社における完成工事高が減少したことにより4,203億円(前期比6.4%減)となりました。損益につきまし

ては、採算重視の受注方針の徹底等により、完成工事総利益率が向上した結果、売上総利益率が8.6%と前期比2.9ポイント上昇し、売上総利益は361億円(同42.0%増)となりました。販売費及び一般管理費につきましては、231億円と前期比12.0%増加し、営業利益は129億円(同171.4%増)、営業利益率3.1%となりました。また、特別利益において、投資有価証券売却益10億円及び負ののれん発生益4億円を計上した結果、140億円の当期純利益(同37.1%増)となりました。

●財務ハイライト(連結)



中期経営計画の策定

今後の建設市場は、中期的には都市部を中心に堅調な投資が予想されている一方で、人口減少や財政上の制約等により、長期的な投資の拡大は見込み難い状況にあります。また、こうした社会的背景の中で、労働集約型産業である建設業では、生産性の向上が喫緊の重要課題であると認識しております。

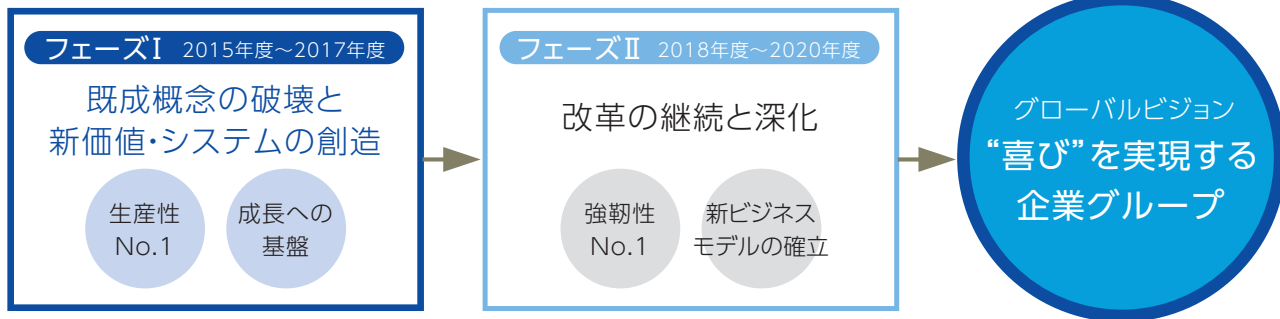
当社グループにおきましては、2015年度を最終年度とする中期経営計画を進めてまいりましたが、最終年度の業績目標「営業利益率2%以上」を当期に1年前倒しで達成することができました。さらに、投資開発事業部や

首都圏土木支店など、今後の成長戦略を推進するための機構改革についても完了したことを踏まえ、この度、今年度を新たな成長へのスタートラインとし、2017年度を最終年度とする「中期経営計画2017」を策定いたしました。

なお、本計画は、本年1月に策定した戸田建設グループグローバルビジョン「喜び」を実現する企業グループへのフェーズIに位置付けております。既成概念の破壊と新価値・システムを創造し、「生産性No.1」「成長への基盤」の実現に向けた中期重点施策を推進してまいります。

● 計画の位置付けと方向性

グローバルビジョンの具現化に向けた「フェーズI」



- ◆ 生産システムや業務フローを再構築し、生産性向上を追求する。
- ◆ 将来を見据えた事業領域の拡大を推進する。
- ◆ 人材や価値観の多様化を図り、新しい企業風土を構築する。

中期重点施策の概要と業績目標

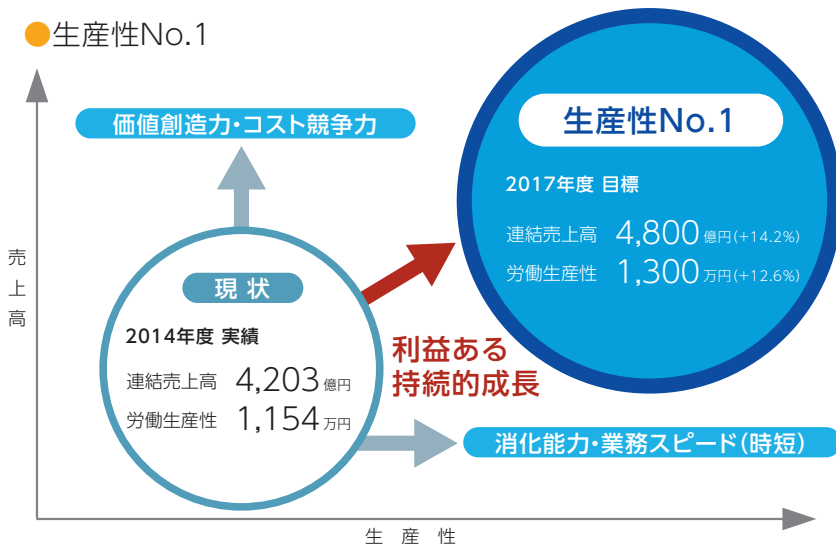
まず、「生産性No.1」につきましては、ゼネコン業界トップの高い生産性の確立を目指します。特命・設計施工の拡大、差別化技術の開発・適用、購買手法の改善等により、価値創造力とコスト競争力を強化いたします。また、省力化施工、BIM (Building Information Modeling) の推進、業務改革とICT再構築(BPR: Business Process Re-engineering)、協力会社との協働拡大等により、消化能力と業務スピードの向上を図ってまいります。

「成長への基盤」につきましては、事業領域の拡大と建設とのシナジーの追求を目指します。投資開発、海外、国内グループ会社を戦略分野に位置付け、取り組みを強化してまいります。なお、2021年度以降を見据えた長期目標におきましては、営業利益全体に占める戦略分野の構成比率を25% (当期9.5%)とし、収益の向上を図ってまいります。

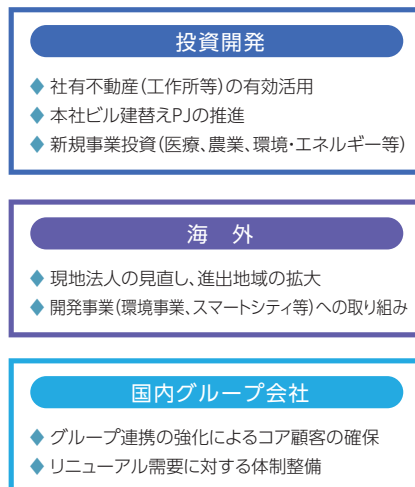
このような施策を通じ、最終年度(2017年度)の業績目標を連結売上高4,800億円程度、営業利益170億円(営業利益率3.5%)以上と定めております。また、新たに「労働生産性(付加価値額(営業利益+総額人件費)÷社員数)」を管理指標として採用し、1,300万円(当期1,154万円)の達成を目指してまいります。配当金につきましては配当性向20%~30%を念頭に、継続性及び安定性を勘案の上で決定させていただきます。

本計画を通じて、より活力にあふれた企業へと成長を遂げてまいり所存にございます。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●生産性No.1



●成長への基盤



工事実績のご紹介

当期の完成・受注工事

当社では、機能性や品質に優れ、安心・安全で、環境に配慮した建設物を実現することで、建設業としての企業の社会的責任を果たしています。当期における主な完成・受注工事をご紹介します。

早稲田キャンパスD棟(仮称)新築工事



工事名称 早稲田キャンパスD棟(仮称)新築工事
工事場所 東京都
発注者 (学)早稲田大学
竣工月 2014年12月
工事概要 S造 地上14階 地下2階 塔屋1
床面積28,471.42m²
用途 学校

E1号館建設計画



工事名称 E1号館建設計画
工事場所 京都府
発注者 (株)島津製作所
竣工月 2014年11月
工事概要 S造 地上7階 地下1階 塔屋1
床面積20,523.98m²
用途 事務所

■ 当期における主な完成工事(中間報告書掲載工事を除く)

- (学)聖マリア学園 聖光学院新校舎整備計画
- 合同会社 大阪市立大学学舎等整備センター
大阪市立大学理系学舎整備事業本体工事
- (学)神戸学院
神戸学院大学ポートアイランドキャンパスD号館・体育館建設工事
- (学)明星学苑 明星大学日野校32・33号館(仮称)新築工事
- 三郷インター南部土地区画整理組合
三郷インター南部土地区画整理事業 造成工事
- 西日本高速道路(株) 西名阪自動車道 郡山北工事

岡山市立市民病院新築工事



工事名称 岡山市立市民病院新築工事
 工事場所 岡山県
 発注者 地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター
 竣工月 2015年3月
 工事概要 SRC造 地上8階
 床面積33,843.92m²
 用途 病院

調布駅付近連続立体交差工事(土木)



工事名称 調布駅付近連続立体交差工事(土木)第6工区
 工事場所 東京都
 発注者 京王電鉄(株)
 竣工月 2015年3月
 工事概要 軌道内木製覆工:1,670m²
 仮設杭打設(BH):1,083本
 工事桁:縦桁94連、横桁51基
 路面覆工:540m² 掘削土量:22,600m³
 土留支保工:462.2t 薬液注入:2,120kl
 躯体コンクリート:4,360m³ 鉄筋:640t
 型枠:5,100m² 品川架道橋撤去:20.8t
 道路橋撤去:936.3m³(U型擁壁一部含む)
 埋戻し工:3,923m³ PC蓋製作架設:65本
 地下化切替:1式
 品川通り仮立体工事:260m
 用途 鉄道

■ 当期における主な受注工事(中間報告書掲載工事を除く)

- 国家公務員共済組合連合会 KKR虎の門病院整備事業
- (株)小湊ホテル三日月 龍宮城スパホテル三日月 新館 新築工事
- オリンパスメディカルシステムズ(株)
会津オリンパス再開発B棟建設工事(第1-4期工事)B棟本体工事
- 東京都豊島区 池袋本町地区校舎併設型小中連携校新築工事
- スリランカ民主社会主義共和国
コロンボ市北部無収水縮減プロジェクト建設工事
- 大阪ガス(株) 第2東部シールド工事 泉大津(一式) 他

下半期トピックス

2014年

10月

立川都市軸A1南地区プロジェクトが着工

(社医)健生会、(株)地域保健企画、(学)大原学園、(株)壽屋、(株)栴屋、日本パーキング(株)、工新建設(株)、当社の8者は10月2日、立川都市軸A1南地区プロジェクトの起工式を行いました。

計画地はJR立川駅(東京都立川市)北側にある(立川)基地跡関連地区A1南地区:立川市緑町4番)約1.5haです。「立川都市軸A1南地区まちづくり協議会」を設立し、約1年半にわたり立川市の発展に貢献する街づくりを目指して、全体の開発計画を協議してまいりました。ここに病院・薬局・専修学校・事務所・駐車場からなる複合施設を建設するとともに、多摩モノレールが走るサンサンロード沿いには立川市の地区計画に則り、飲食・物販等の賑わい施設を設ける計画です。

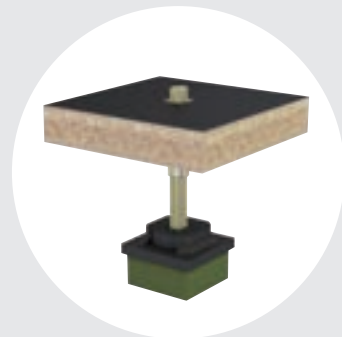
建物の一番高い部分は地上12階、全体延床面積約46,000m²、街全体の完成時期は2016年12月を予定しています。



10月

高遮音乾式二重床 「プレフロアー Quiet⁺(クワイエットプラス)」を開発

当社、淡路技建(株)および日本ゲッツナー(株)は、乾式二重床「プレフロアー Quiet⁺」を共同開発しました。この製品は特殊防振支持脚を採用することにより、重量床衝撃音レベル遮断性能を従来の乾式二重床より1ランク向上させ、床面の振動も小さく抑えることができる乾式二重床です。今後、集合住宅や学校、フィットネススタジオなどに積極的に提案していく予定です。



11月

「土木の日」技術研究所見学会を開催

当社は、11月18日の「土木の日」にちなみ、11月18日に(公社)土木学会関東支部との共催で、つくば市立沼崎小学校5年生の児童112名を技術研究所(茨城県つくば市)に招き見学会を開催しました。

見学会冒頭の挨拶では、土木工事技術部技術管理課長河野より「土木は道路、上下水道、鉄道をはじめとした身近なところで関わりがあり皆さんの生活を支えている」と土木の役割や魅力を紹介しました。

施設見学では「液状化現象の実験」・「(シールド工事の充てん用)裏込材の混合実験」・「コンクリートの圧縮強度試験」・「音響施設(残響室と無響室)、騒音制御システムTAN C」・「屋上ビオトープ」を児童たちに見学・体験してもらいました。

当社は、子どもたちに「土木」の魅力を伝え、関心を持ってもらうため、今後もこのような機会に「土木」と市民生活との深い関わり合いについて広めてまいります。



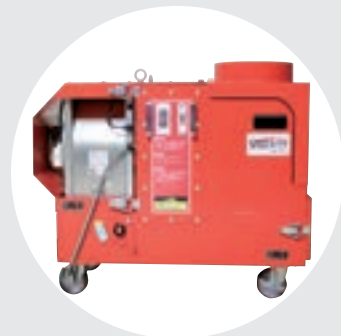
2015年

2月

建設現場向けに日本で初めて電気集塵ユニットを組み込んだ「STDコレクタ」を共同開発し販売

当社、新東工業(株)、(株)大同機械の3社は、建設現場向け汎用小型集塵機に、日本で初めて電気集塵ユニットを搭載した新製品「STDコレクタ」を共同開発し、2月1日から販売を開始しました。

従来、建設現場では、集塵のための機械(集塵機)と溶接時のヒューム除去のための機械(溶接煙除去装置)と2台を設置する必要がありました。今回開発した「STDコレクタ」は、これら2種類の機能を1台で受け持ちます。過酷な労働環境を大きく改善できるものと期待しています。



3月

メガソーラー発電事業を展開

当社は、「長崎さくらの里メガパワー計画」と「宮崎国富メガソーラー計画」の建設に着手し発電事業を行います。当社はメガソーラー発電において、発電事業者として九州地方で1件、東北地方で1件の実績がすでにあり、これで計4物件(合計21.6MW)になります。

当社は、メガソーラー発電以外にも、浮体式洋上風力発電を中心とした再生可能エネルギーの技術展開に取り組んでおり、新たな事業の柱として積極的に展開していく方針です。



3月

首都圏土木支店開設のお知らせ

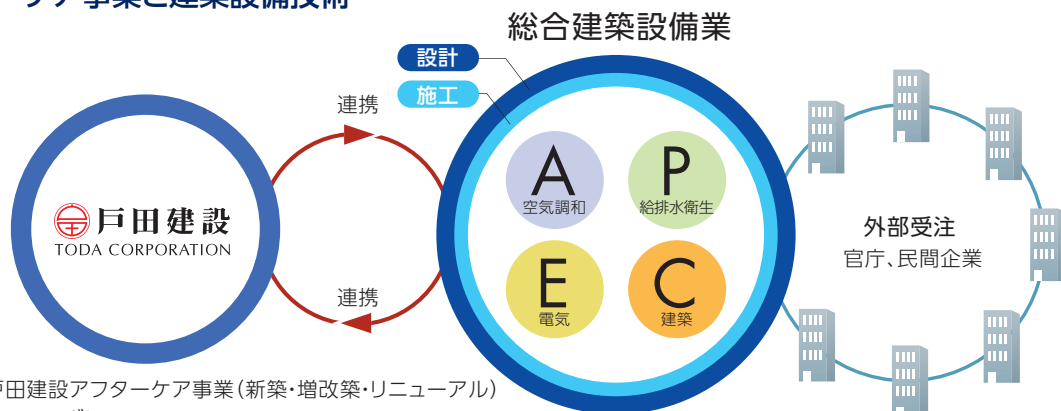
当社は、首都圏土木支店の開設(4月1日付)を公表しました。

2020年東京五輪の開催に向けてインフラ整備が進み、既存インフラの維持管理・更新が重要になってくる首都圏の市場性を鑑み、営業・施工の経営資源を結集し、受注・施工体制の強化を図るため当社初の土木支店として、組織を再編することとなりました。併せて、当社土木部門の核となる人材の育成を推進いたします。

APEC 株式会社 アペックエンジニアリング

私たちは戸田建設グループの一員として、空気調和(Air)・給排水衛生(Pipe)・電気(Electric)・建築(Construction)の4文字に総合建築設備業としての意思を含め、サブコン優良企業となり、良質な仕事でお客様の満足と信頼を得て貢献していきます。

アフターケア事業と建築設備技術



戸田建設アフターケア事業(新築・増改築・リニューアル)とのコラボレーション。

設備の改修、価値の再創造。

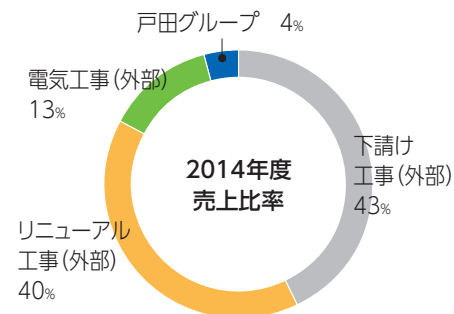
品質・利益重視の姿勢と取り組み

- ◆ 毎年1,000件以上の小口工事に対応する工事实績
- ◆ 技術力の高い直用工、外国人実習生による工事支援体制
- ◆ 電気工事の技術力・人員力を高め、事業規模拡大

外部売上90%以上。厳しい競争の中でも受注力を養い、戸田建設の指針に合わせ利益重視の体質を目指しています。これからも信頼度の高い施工を通し、顧客満足度を上げ、品質・利益を確保することでグループに貢献してまいります。

会社概要

商号	(株)アペックエンジニアリング
創業	1961年6月(2008年事業譲受)
設立	2008年11月
資本金	1億円
売上高	56億1,598万円(2014年度)
従業員	154名(2015年4月1日現在)



海外での事業展開

世界に広がるネットワーク

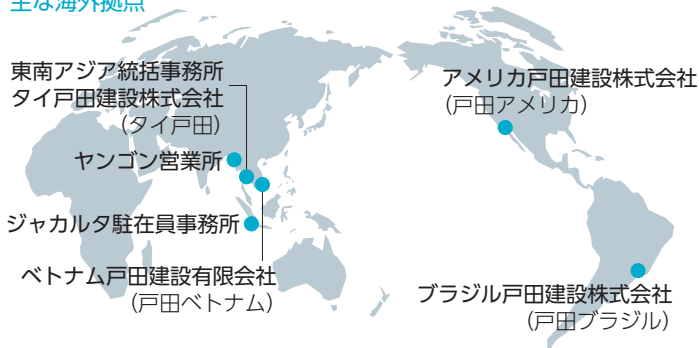
当社の海外事業は、ブラジル・タイ・ベトナム他に拠点を置く連結子会社での「民間建築工事」を主軸とし、アジア・アフリカ地区における「援助工事」、アメリカでの「不動産事業」を中心に展開しています。

海外における当社の重点市場であるアジアでは、本年3月にミャンマー国において「ヤンゴン営業所」を設立致しました。

また当社において初となるアジア開発銀行借款案件を昨年スリランカで受注し本格的な施工が始まっています。海外土木工事に関しては、今回の受注を機に着実に施工経験を積み新たなステップへとつなげていきたいと考えています。

ブラジルは当社海外事業売上高の5割近くを占める基幹市場です。同国では環境分野への関心が高まり、同国内で開催された環境に関する国際会議を始め各種展示会等において当社の環境技術の展示や講演を行いました。

主な海外拠点



海外年表

1910年	日英博覧会 出品陳列館建設
1914年	パナマ運河開通記念 パナマ太平洋万国博覧会 日本出品陳列館建設
1972年	戸田ブラジル設立 戸田アメリカ設立
1988年	タイ戸田設立
2009年	戸田ベトナム設立
2010年	海外進出100周年
2012年	戸田ブラジル及び戸田アメリカ設立40周年 東南アジア統括事務所設立
2013年	ジャカルタ駐在員事務所設立
2014年	国際支店を海外事業部とし、体制を強化
2015年	ヤンゴン営業所設立

(施工実績 38カ国)



ユニチャーム ブラジル
ジャグアアリウーナ工場
(2014年竣工:ブラジル)



タイ柳河精機株式会社
304新工場
(2014年竣工:タイ)

連結損益計算書のポイント

(単位: 億円)

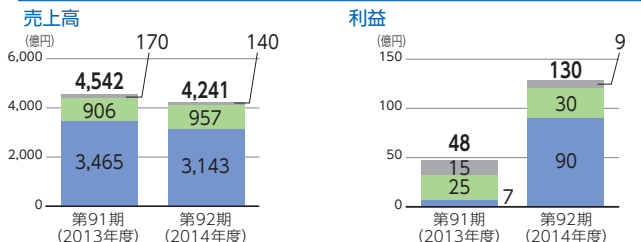
	第91期 (2013年度)		第92期 (2014年度)		増減率 (%)
	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	
売上高	4,489		4,203		▲6.4
売上総利益	254	5.7	361	8.6	42.0
一般管理費	206		231		
営業利益	47	1.1	129	3.1	171.4
営業外収支	18		18		
経常利益	65	1.5	148	3.5	125.0
特別損益	44		2		
税引前当期純利益	110		151		
法人税等	8		10		
当期純利益	102	2.3	140	3.3	37.1

連結損益計算書

主要な事業である建設事業において、採算重視の受注方針の徹底等により、低採算工事の件数が減少し、また、手持ち工事の採算改善も順調に進んでいます。この結果、売上総利益率8.6%と前期比2.9ポイント上昇し、売上総利益は前期比42%増の361億円となりました。

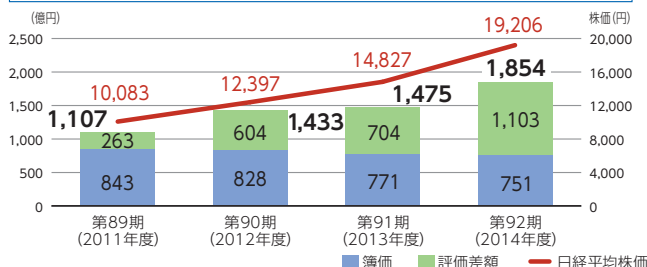
営業利益は、販売費及び一般管理費が前期比12%増加したものの前期比171%増の129億円、売上高営業利益率は3.1%と前期比2.0ポイント上昇しました。

セグメント別 売上高・利益



※セグメント別売上高・利益には、セグメント間取引を含んでおります。また、セグメント別営業利益には、従来、全社費用を含めていませんでしたが、当期より各セグメントに配賦する方法に変更しています。

投資有価証券の推移

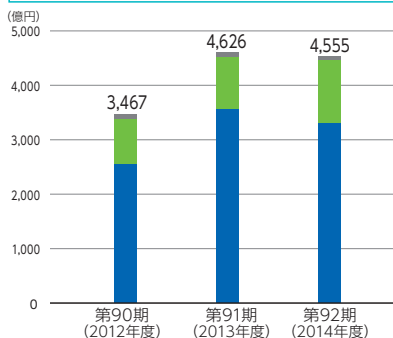


投資有価証券

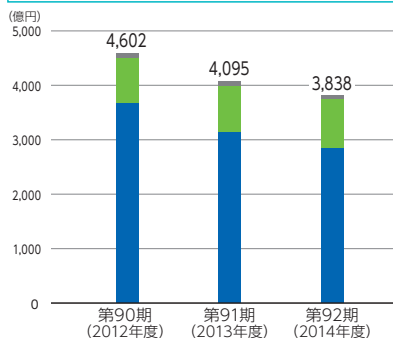
当社保有の投資有価証券につきましては、株価変動リスクの低減、手元資金の充実の観点から、漸次売却を進めておりますが、ここ数年の株価の上昇による評価差額の増加により、当期末残高が1,854億円になりました。

なお、営業外収益に受取配当金20億円、特別利益に売却益10億円が含まれています。

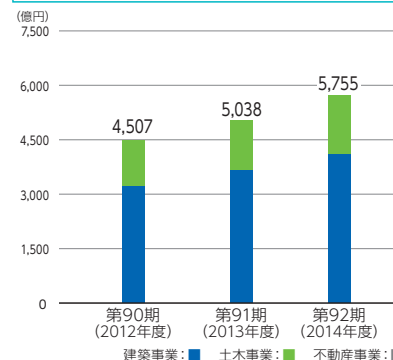
受注高(個別)



売上高(個別)

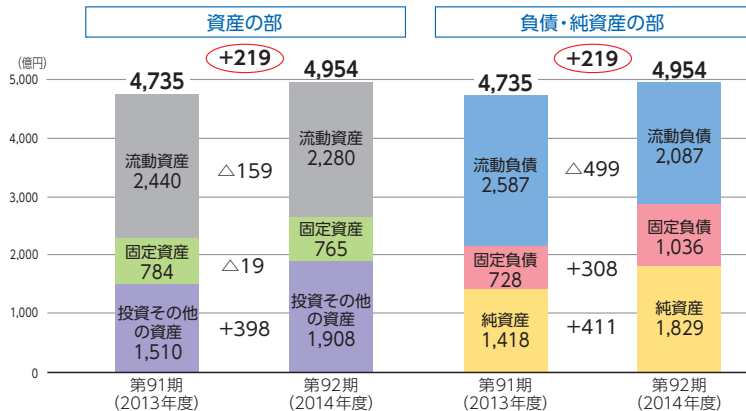


繰越高(個別)



建築事業: ■ 土木事業: ■ 不動産事業: ■

連結貸借対照表のポイント



連結貸借対照表

●資産の部

有価証券が78億円、未成工事支出金が118億円減少しましたが、投資有価証券の増加379億円などにより、前期末と比較して219億円増加の4,954億円となりました。

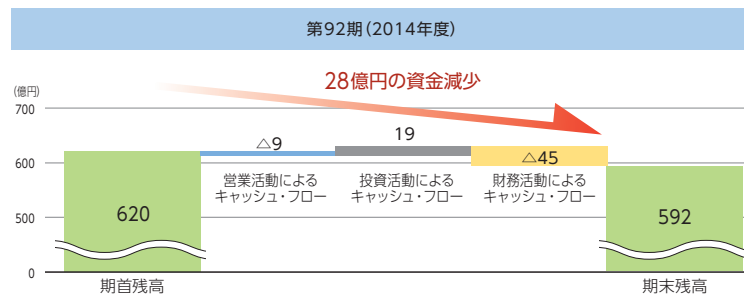
●負債の部

保有株式の評価差額の増加に伴い繰延税金負債が111億円増加しましたが、支払手形・工事未払金等の減少104億円、未成工事受入金の減少106億円、工事損失引当金の取崩79億円などにより、前期末と比較して191億円減少の3,124億円となりました。

●純資産の部

当期純利益の計上140億円、保有株式の時価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加294億円などにより、前期末と比較して411億円増加して純資産は1,829億円となりました。なお、これにより、自己資本比率は前期比7.3ポイント上昇して36.4%となりました。

連結キャッシュ・フローのポイント

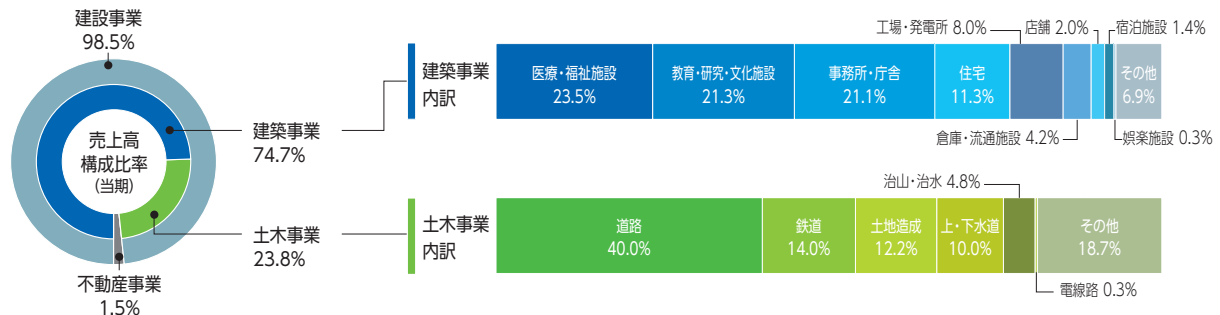


連結キャッシュ・フローの状況

税金等調整前当期純利益が151億円となりましたが、仕入債務の減少などにより営業活動としては9億円の資金減少となりました。投資活動としては、投資有価証券の売却及び償還、有形固定資産の売却等により、19億円の資金増加となりました。財務活動としては、自己株式の取得、配当金の支払い等により45億円の資金減少となりました。

この結果、当期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて28億円減少し、592億円となりました。

事業種類別 売上高構成比率(個別)



BCP(事業継続計画)をトータルサポートする戸田建設の技術

当社は、地震時BCP支援を行うトップゼネコンとして様々な技術開発を行っています。
当社が提供する地震時BCP支援技術の一部をご紹介します。



ビルメディカルシステム®(建物モニタリング診断システム)を種々のニーズに適合

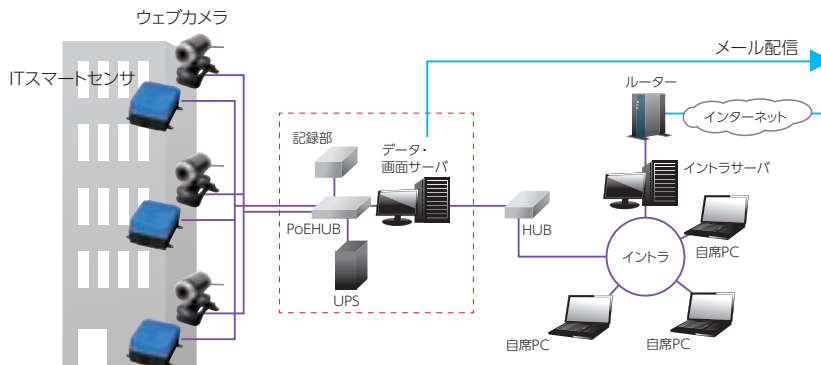
巨大地震時の建物安全・安心情報を即時に、分かり易く提供

南海トラフにおける連動型巨大地震や首都直下型地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震など、マグニチュード7を超える巨大地震が今後30年以内に発生する確率は、非常に高いといわれており、それに対する防災・減災対策が急がれています。ビルメディカルシステムは、地震によって建物が大きな揺れを受けた際に、地震の数分後に建物の健全性に関する診断結果を、分かり易く「見える化」するシステムです。ITスマートセンサ*1が地震の揺れを感知すると、診断サーバが自動的に分析して建物の健全度を判定し、建物震度*2や健全性など必要な情報をモニター

画面にリアルタイムに分かり易く表示します。また、様々な配信手段を介して建物管理者・オーナーに伝達することで、的確な初動対応と早期復旧への意思決定を可能にし、BCP(事業継続計画)・LCP(生活継続計画)対策を強力に支援します。

今後、当社は超高層建築物をはじめとし災害時に重要な拠点となる病院公共施設などのBCP・LCP対策支援ツールとして、このシステムを積極的に展開していく予定です。

- *1 ITスマートセンサ: コンピュータを搭載した地震センサ
- *2 建物震度: 建物の特定場所の揺れの大きさを、気象庁の定める震度と同様な計算方法により震度相当値に換算した値。



BCP対策ビルメディカルシステム概要



モニター画面例



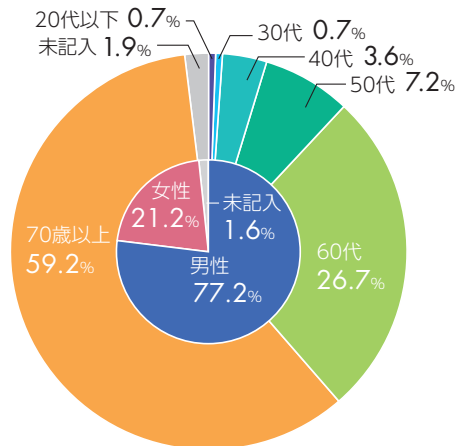
株主様アンケート結果のご報告

中間報告書と同封いたしました株主様アンケートにつきまして、933名の株主様よりご回答がありました。

ご協力を賜り、まことにありがとうございました。

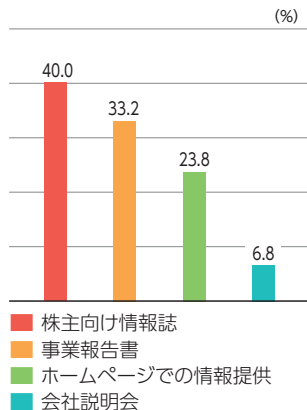
アンケート結果の一部をご紹介します。また、いただきましたご意見につきましては、今後の経営やIR活動に活かしてまいります。

調査期間	2014年12月5日～2015年1月31日
調査対象	単元以上株主様 8,151名
回答者数	933名
回答率	11.45%



アンケート結果(一部)

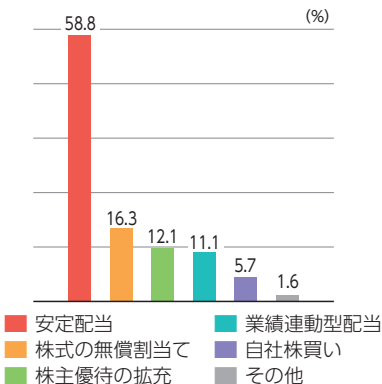
IR活動への要望



IR活動として「株主向け情報誌」の充実を求める声を多くいただきました。

引き続き読みやすくわかりやすい情報誌の作成に努めてまいります。

株主還元策として期待するもの



安定配当を求める意見を多く頂戴しました。

今後も企業価値の向上に努め、株主の皆様へ還元を図ってまいります。

報告書に対するご意見(一部)

- 社会貢献活動をもっと活発に行って欲しい。
- 業績の向上と社会へのイメージUPを。
- 現場の女性や所長インタビューなどをのせて欲しい。
- とてもコンパクトにまとめられており、分り易くてよかった。
- 工事現場の写真や工法の紹介が興味深かった。
- 環境、CSR情報を増やして欲しい。
- 文字の大きさ、色を濃い目にして欲しい。

貴重なご意見を数多く頂戴し、感謝申し上げます。当社では皆様からのご意見を活かし、これからも充実した報告書の作成に取り組んでまいります。

■ 会社概要

(2015年3月31日現在)

● 主な事業所等

本店(東京都中央区京橋一丁目7番1号)

支店

- ・東京支店(東京都中央区)・千葉支店(千葉市)・関東支店(さいたま市)
- ・横浜支店(横浜市)・大阪支店(大阪市)・名古屋支店(名古屋市)
- ・札幌支店(札幌市)・東北支店(仙台市)・広島支店(広島市)
- ・四国支店(高松市)・九州支店(福岡市)

技術研究所(つくば市)

子会社

- ・戸田ビルパートナーズ(東京)
- ・アベックエンジニアリング(埼玉)
- ・千代田建工(東京)
- ・戸田道路(東京)
- ・戸田ファイナンス(東京)
- ・東和観光開発(広島)
- ・千代田スタッフサービス(東京)
- ・戸田アメリカ
- ・戸田ブラジル
- ・戸田上海
- ・タイ戸田
- ・戸田ベトナム
- ・戸田フィリピン
- ・ABTD(フィリピン)

(注) 2015年4月1日付で首都圏土木支店(東京都中央区)を設置しました。

● 従業員の状況

従業員数 4,817名(連結) 3,861名(個別)

● 取締役および監査役(2015年6月26日現在)

代表取締役社長	今井雅則	常勤監査役	野々口悦生
代表取締役	鞠谷祐士	常勤監査役	西牧武志
代表取締役	秋場俊一	監査役	鈴木勝利
代表取締役	宮崎博之	監査役	秋草史幸
取締役	戸田守道	監査役	神谷和彦
取締役	早川誠		
取締役	西澤豊		
取締役	大友敏弘		
取締役	植草弘		
取締役	下村節宏		
取締役	網谷駿介		

(注) 1: 取締役下村節宏氏および網谷駿介氏は、社外取締役であります。

2: 監査役鈴木勝利氏、秋草史幸氏および神谷和彦氏は、社外監査役であります。

3: 取締役下村節宏氏、網谷駿介氏および監査役神谷和彦氏は東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

■ 株主優待のご案内

毎年9月末時点の当社株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様を対象に、当社グループが保有・運営する「ホテル&リゾート サンシャイン サザンセット(山口県)」の宿泊割引利用券を贈呈いたします。

戸田建設株式会社

〒104-8388 東京都中央区京橋一丁目7番1号
TEL.(03) 3535-1357
<http://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索



■ 株式の状況

(2015年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 12,356名
- 大株主

株主名	持株数(千株)
大一産殖株式会社	38,315
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	15,417
戸田 秀茂	14,632
株式会社三菱東京U F J 銀行	11,496
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U. S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	9,143
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,739
株式会社みずほ銀行	7,107
三宅 良彦	7,027
BBH BOSTON CUSTODIAN FOR BLACKROCK GLOBAL ALLOCATION FUND, INC. 620313	6,703
戸田 博子	6,611

(注) 上記のほか当社所有の自己株式15,520千株があります。

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711(通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。

公告掲載URL <http://www.toda.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。